

## 第 68 回日本生態学会大会（岡山）案内

第 68 回日本生態学会大会（公式略称 ESJ68）は、大会実行委員会および大会企画委員会により、下記の要領で開催されます。本大会は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、オンラインにて開催いたします。できる限り従来の枠組みを崩さずに実施することを予定しております。詳細は次号のニュースレター又は下記の大会公式ホームページで随時ご確認ください。

※ 本大会では、前回名古屋大会の中止をうけて、同一の非会員による 2 年連続の招待講演が例外的に認められます。また、審査員確保の観点から、ポスター賞および高校生ポスター発表については申込上限数が設定される予定です。なお、日本分子生物学会との学会連携は終了しておりますので、ご注意ください。

### 使用ツール

現時点で使用を検討しているオンラインツールは以下の通りです。使用方法や使用場面を含め、今後変更する可能性があります。なお、これらのツールを使用して参加・講演いただくためには、安定したインターネット環境と、パソコンやスマートフォン等が必要になります。参加予定の方は、準備を進めていただけますよう、よろしく申し上げます。

- ・ Zoom ミーティング (<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>)：口頭発表やポスター発表のコアタイム等での使用を検討しています。すべての参加者が画面を共有し、マイクとカメラをオンにできます。
- ・ Zoom ウェビナー (<https://zoom.us/jp-jp/webinar.html>)：シンポジウムや自由集会等での使用を検討しています。主催者と講演者がマイクとカメラをオンにし、画面を共有できます。視聴者は、Q&A、チャット、そしてアンケートへの回答によってやり取りできます。主催者が許可すると視聴者もマイクとカメラをオンにできます。
- ・ LINC Biz (<https://getlincbiz.jp/>)：ポスター発表での使用を検討しています。発表資料のダウンロード防止措置が可能です。チャット、ビデオ会議が可能です。
- ・ Confit (<https://about-confit.atlas.jp/>)：ポスター発表での使用を検討しています。発表資料のダウンロード防止措置が可能です。コメントが可能です。

### 日程・会場

2021 年 3 月 17 日（水）～ 21 日（日）

特定の会場を設けず、全面的にオンラインにて開催する予定です。ただし、総会や受賞記念講演などの一部のプログラムについては、参加者を限定して岡山で開催し、ウェブ配信する可能性があります。詳細は次号のニュースレターでお知らせします。

第 68 回日本生態学会大会（ESJ68）実行委員会

大会会長：宮竹貴久（岡山大学）、大会実行委員長：廣部 宗（岡山大学）

大会公式ホームページ <http://www.esj.ne.jp/meeting/68/>

本大会に関する問い合わせは、大会公式ホームページからリンクしている問い合わせページからお願いします。

### 提案・申込の受付開始・締切

#### 【受付開始】

新規入会・再入会申込	随時
大会参加・講演・企画など申込	締切の 1 ヶ月程度前から
ER 招待講演を希望するシンポジウムの事前応募	締切の 1 ヶ月程度前から

#### 【締切】

ER 招待講演を希望するシンポジウムの事前応募	2020 年 8 月 31 日（月） 23:59
シンポジウム・自由集会の企画提案	} 2020 年 11 月 2 日（月） 23:59
一般講演申込	
各発表賞申込	
高校生ポスター発表申込	
講演要旨登録	大会の約 1 ヶ月前（予定）

※ スケジュールに変更の可能性がありますので、適宜、大会公式ホームページで確認ください。

※ 講演申込のための生態学会への新規入会申込も、11月2日（月）23:59まで可能ですが、新規入会申込を行ってから講演申込をする必要があります（講演申込が23:59を超えてはいけません）。新規入会者は講演要旨登録の締切日までに学会費を支払い、会員となっておいただく必要があります。

※ 各締切日の17:00～翌日10:00はお問い合わせに対応できません。様々な手順の確認はお早めをお願いします。

※ すべての締切に関して、締切後の追加や修正等の依頼には対応できません。

## 大会参加資格一覧

会員種別ごとの参加資格は以下の通りです。企画・講演の重複制限については、各集会および一般講演の詳細をご覧ください。

講演種別 \ 会員種別	会員 *1	非会員
聴講者としての大会参加	○	○
一般講演（口頭・ポスター）*2	○	
シンポジウム・自由集会の企画 *3	○	
シンポジウム講演 *2	○	○ *5
自由集会講演 *2	○	
シンポジウム・自由集会のコメンテータ・意見表明 *4	○	○

\*1 日本生態学会の正会員（一般・学生）および名誉会員を指します。賛助会員は含まれません（以下同様）。

\*2 講演の主たる説明者を意味します。共同発表者は会員である必要はありません。

\*3 共同企画者も会員に限ります。

\*4 要旨を登録しないコメンテータや意見表明を指します。要旨登録を行う場合は「講演」となります。

\*5 企画者に招待された方に限ります。下記「シンポジウムの募集」の「企画内容について」の第2項および第3項をご参照ください。

- ・非会員が講演・企画を希望される場合（シンポジウムでの招待講演を除く）は、講演・企画申込前に学会への入会申込を行い、講演要旨登録の締切日までに学会費を納入して会員となっておください（会費滞納による退会者の再入会の場合も同様です）。
- ・高校生ポスター発表会に参加される高校生（中学生含む）については、高校生ポスター発表会・「みんなのジュニア生態学講座」の案内をご覧ください。
- ・非会員でも、大会参加費をお支払いいただければ、聴衆としてすべてのプログラムに参加できます。
- ・自由集会のみを聴講する場合は自由集会聴講券を利用できるようにする予定です（詳細は、大会参加費の項をご覧ください）。

## 大会参加費・懇親会費

- ・大会参加費・懇親会費は、学会費と別に納入していただきます。詳しくは、次号のニュースレターでお知らせします。
- ・若手の参加を促進するために、聴講のみの学部学生以下の学生については、大会参加費を会員・非会員とも無料化することを予定しています。
- ・自由集会のみに聴衆として参加する場合には、会員・非会員問わず自由集会聴講券（形式は検討中）を利用できるようにする予定です。自由集会聴講券は、大会期間中複数日にわたって利用できます。料金を含め、詳細は次号のニュースレターでお知らせします。
- ・懇親会はZoom等を用いたオンライン形式での開催を検討しております。懇親会費の有無を含め、詳細は次号のニュースレターでお知らせします。

## 公開講演会

日本生態学会第24回公開講演会

講演会タイトル：「環境DNAの衝撃：生き物たちの過去・現在・未来を解き明かす」

日時：2021年3月21日（日）

Zoom ウェビナーを用いたオンライン開催を予定しています。内容の詳細については、次号のニュースレターでお知らせします。

## シンポジウムの募集

ESJ68 では、大会シンポジウムの企画案を会員から募集します。大会の中心となる集会となりますので、下記の趣旨をご理解のうえ、奮ってお申込みください。シンポジウムの開催時間は約3時間で、Zoom ウェビナーを用いたオンライン開催を予定しています。

### 【企画内容について】

- ・大会参加者は、毎年多様なテーマに関するシンポジウムが開催されるとともに、それまでにはなかった新鮮なテーマのシンポジウムが開催されることを期待しています。大会企画委員会は、シンポジウム企画経験の少ない方からの企画提案を歓迎します。
- ・他分野との交流を深めるため、生態学会会員以外の非会員の方に招待講演をしていただくことも可能です。招待講演者の大会参加費は無料となります。
- ・前回の名古屋大会中止をうけて、**本大会では例外的に同一の非会員による2年連続の招待講演が認められます。**ただし、通常の規定では同一の非会員による2年連続の招待講演はできませんので、次回大会以降はご注意ください。
- ・なお、名古屋大会では既発表となりましたが、討論・意見交換ができなかったため、同様のテーマのシンポジウム企画を希望される場合が考えられます。その場合は、この一年間の研究進展も含めた新たな知見を含んだ企画で、**タイトル、演題、要旨のいずれもが名古屋大会と同一にならないように留意のうえで申請してください。**
- ・ESJ68 では、シンポジウムで講演する海外研究者のうち1名以上を *Ecological Research* 誌による招待講演者 (ER 招待講演者) として採用予定です。ER 招待講演者には、大会後にシンポジウム内容に関連したレビュー論文もしくは特集論文などを *Ecological Research* 誌に投稿していただく必要がありますが、投稿論文は学会負担でオープンアクセス化して出版されます。また、大会参加費も無料となります。
- ・若手研究者からの意欲的な提案を期待しています。

### 【英語使用について】

- ・日本生態学会では、留学生や海外からの大会参加が増えています。今後もさらに参加者どうしの研究交流が進むことを目指して、シンポジウムにおける英語の使用 (日本語との併用を含む) を奨励します。
- ・日本語で開催されるシンポジウムでは、可能な範囲で、スライドでの英語併記などの工夫をお願いします (英語開催のシンポジウムにおいて非英語話者の参加を促すのにも有効です)。

### 【応募要領】

- ・シンポジウムの応募締切は、**2020年11月2日(月) 23:59**です。具体的な申込方法は次号のニュースレター、および9月下旬頃に大会ホームページでお知らせします。
- ・なお、ER 招待講演者による講演を希望するシンポジウムは、**2020年8月31日(月) 23:59**までの事前応募が必要となります。具体的な応募方法は7月下旬頃に大会ホームページでお知らせします。
- ・大会企画委員会は内容に関与しませんが、個人および団体を誹謗中傷する内容などを含むと判断されるシンポジウム企画は採択されないことがあります。

### 【応募の制限について】

- ・企画者 (共同企画者も含む、以下同様) は会員 (正会員および名誉会員、以下同様) に限ります。非会員は企画者になれません。
- ・異なるシンポジウム間で重複して企画者または講演者となることはできません (「講演者」は「講演の主たる説明者」を意味します。以下同様)。
- ・シンポジウムの企画者・講演者は、自由集会の企画者・講演者、一般講演 (口頭発表、ポスター発表とも) の講演者になることはできません。
- ・要旨登録を伴わない趣旨説明、コメント、意見表明などは、講演には数えません。そのため、これらは講演の重複制限の対象とはなりません。
- ・シンポジウムとして申請する場合、講演者は2名以上で構成してください。講演者が1名だけの場合は自由集会として申請してください。

## 自由集会の募集

ESJ68 では自由集회를募集します。下記の趣旨をご理解のうえ、奮ってお申込みください。自由集会の開催時間は約 1.5 時間で、Zoom ウェビナーを用いたオンライン開催を予定しています。

### 【企画内容と応募の制限について】

- ・自由集会は、新しい分野の立ち上げを助け、生態学の枠組みからはみ出す話題についても自由に議論できる場として、生態学会が伝統的に重視してきた集会です。
- ・自由集会では、全体の趣旨説明と概要のほか、個別の講演の要旨も、プログラムと講演要旨集に掲載されます。
- ・企画者（共同企画者も含む、以下同様）は会員（正会員および名誉会員、以下同様）に限ります。非会員は企画者になれません。
- ・講演者は会員に限ります（「講演者」は「講演の主たる説明者」を意味します。以下同様）。非会員の方に招待講演をしていただくことはできません（要旨登録を伴わないコメントや意見表明は可能です）。
- ・自由集会の企画者・講演者は、一般講演（口頭発表もしくはポスター発表）のみ、重複して講演することができます。
- ・自由集会の企画者・講演者は、シンポジウム及び他の自由集会の企画者・講演者となることはできません。
- ・要旨登録を伴わない趣旨説明、コメント、意見表明などは、講演には数えません。そのため、これらは講演の重複制限の対象とはなりません。
- ・なお、名古屋大会では既発表となりましたが、討論・意見交換ができなかったため、同様のテーマの自由集会企画を希望される場合が考えられます。その場合は、この一年間の研究進展も含めた新たな知見を含んだ企画で、タイトル、演題、要旨のいずれもが名古屋大会と同一にならないように留意のうえで申請してください。

### 【応募要領】

- ・自由集会の応募締切は、**2020年11月2日（月）23:59**です。具体的な申込方法は次号のニュースレター、および9月下旬頃に大会ホームページでお知らせします。
- ・大会企画委員会は内容に関与しませんが、個人および団体を誹謗中傷する内容などを含むと判断される自由集会企画は採択されないことがあります。

### 【自由集会の採否について】

- ・十分なアカウント数を確保する予定ですが、提案数が例年を大幅に上回る場合には、**抽選で自由集会の採否を決定**します。
- ・開催の可否については、締切の約3週間後にメールでご連絡します。

大会シンポジウム・自由集会の違いは以下の通りです。

	シンポジウム	自由集会
位置づけ	大会の核となる集会。	様々な話題を自由に議論できる場。
開催時間	約3時間	約1.5時間
開催の優先度	最優先されます。	応募多数の場合は抽選で採否を決定します。
日程・時間	最優先されます（聴衆の集まりやすい夕刻を中心に、シンポジウムの枠が空日時に割り当てられます）。	夕刻を中心に、シンポジウムの枠が空いている日時に割り当てられます。
企画委員会の関与	特定の個人や団体を誹謗中傷する内容がないかだけを審査します。	
企画者の資格	会員	
非会員による講演	奨励します（招待講演者として参加費を免除します）。	認められません（要旨登録を伴わないコメントや意見表明は可能です）。
海外からのER招待講演者	大会全体で1名以上認められます。	なし。
企画者・講演者の一般講演	不可	可
企画者・講演者の他集会の企画・講演	不可	
提案締切日	11/2（月）ただしER招待講演を希望するシンポジウムは8/31（月）	
集会の概要、講演者（主たる説明者）、共同発表者、発表タイトルの登録締切日	11/2（月）	
プログラムおよび要旨集への掲載内容	集会概要が掲載されます。要旨集には各講演の要旨も掲載されます。	

## フォーラム

- ・学会内の各種委員会等によって企画されるフォーラムを数件開催する予定です。フォーラムとは、各種委員会および理事から提案され、生態学会が取り組んでいる生態学に関連する課題について広く会員の意見を募り、会員相互の情報共有を促すことや、広範な議論により学会内の合意を形成することを目指すものです。
- ・フォーラムには、大会参加費を払っていない方でも、会員（正会員および名誉会員）であれば参加可能です。
- ・フォーラムの開催時間は約 1.5 時間で、Zoom ウェビナーを用いたオンライン開催を予定しています。なお、フォーラムの企画やフォーラムでの話題提供は、講演の重複制限の対象となりません。フォーラムの申込みは各委員会代表者および理事が行います。
- ・8月にフォーラム開催希望調査を行いますので、それに対して企画提案をしてください（締切 2020 年 9 月 15 日（火））。企画案は、理事会で確認し、大会企画委員会および実行委員会との調整の上で、最終的な採択の可否が決定されます。これらの協議の過程で、内容の修正や開催形態の調整を求められることがあります。

## 一般講演

- ・一般講演には口頭発表とポスター発表があります。
- ・口頭発表は、Zoom 等を用いたリアルタイムでの発表および質疑応答とし、従来の現地開催とほぼ同様の発表形式を維持することを予定しています。
- ・ポスター発表は、LINC Biz や Confit 等を用いて、事前アップロードされたポスターファイルを自由に閲覧できる形式とする予定です。質疑応答はチャットで行えるようにするほか、リアルタイムでの議論については適宜 Zoom 等で行っていただくことを検討しています。詳細は次号のニュースレターでお知らせします。
- ・申込み時に希望（口頭発表かポスター発表）をお聞きしますが、それぞれの発表件数の多寡によってはご希望に沿えない場合もあります。
- ・本大会では審査員確保の観点から、ポスター賞の申込数について、前回名古屋大会と同様に、500 件という上限を設定することを予定しています。一般ポスターの申込数については、上限設定はありません。詳細は次号のニュースレターでお知らせします。
- ・発表内容に応じた割り振りを行うため、発表申込み時に適切な分野を選んでいただきます。
- ・口頭発表では、英語での発表・討論を経験する機会を提供し、日本語を解さない参加者との交流を図るために、英語での発表を歓迎します。また、英語による発表を集めた「英語口頭発表枠」を選ぶこともできます（発表内容に応じた分野分けも行います）。
- ・なお、名古屋大会では既発表となりましたが、討論・意見交換ができなかったため、同様のテーマの発表を希望される場合が考えられます。その場合は、この一年間の研究進展も含めた新たな知見を含んだ発表で、演題や要旨が名古屋大会と同一にならないように留意のうえで申請してください。

### 注意：

- ・一般講演の講演者（主たる説明者、以下同様）は、会員（正会員および名誉会員、以下同様）に限ります（共同発表者は会員である必要はありません）。
- ・1人で2つ以上の講演の主たる説明者になることはできません（共同発表者になることは差し支えありません）。
- ・さらに、シンポジウムの企画者・講演者は一般講演を行えません（口頭・ポスターとも）。これらの制限は、いずれも限られた発表枠と時間を分け合って使うための措置ですので、ご了承ください。

## 英語口頭発表賞

- ・ESJ68では、英語口頭発表枠での第8回英語口頭発表賞の実施を検討しています。賞の目的は、大会における英語による研究発表を振興し、留学生や国外からの参加者との議論の場をより多く作ることです。特に若手研究者のコミュニケーション能力と国際的情報発信力を高める機会を増やすことを重視しています。
- ・現在、口頭発表のオンライン開催の中で、英語口頭発表賞の審査の公平性の担保と審査員の負担軽減が実現可能かどうか、検討を重ねております。発表賞そのものが実現可能かどうかを含め、詳細は次号のニュースレターでお知らせします。
- ・なお、発表賞の実施の有無に関わらず、全ての方の英語口頭発表枠での一般講演を推奨します。英語での発表の実践の場としてもどうぞご活用ください。

## ポスター賞

ESJ68 では、若手の研究を奨励するために、優秀なポスター発表に賞を贈ります。ポスター発表では、英語での説明を併記するなど、日本語を理解しない参加者への配慮を推奨します。ポスター賞の運営、応募資格、審査方法などについては、次号のニュースレターに掲載します。

## 高校生ポスター発表会・「みんなのジュニア生態学講座」

- ・日本生態学会は、生態学の社会への普及のため、アウトリーチ活動の一環として、高校生ポスター発表会・「みんなのジュニア生態学講座」を実施しています。
- ・高校生（中学生も歓迎です）にポスター発表をしていただき、生態学諸分野の専門家や学生、他の参加校との交流を通して、生態学全般への関心をさらに高めていただくのが本企画のねらいです。生き物の生態や環境に関わる生物学の内容であれば、どのような分野や題材の発表でも大歓迎です。既に他の学会等で発表された研究の場合、そこからどのように発展したのかを含め、研究の集大成・経過報告としてご発表ください。参加費は無料です。
- ・本大会では一般講演のポスター発表と同様に、LINC Biz や Confit 等を用いて、事前アップロードされたポスターファイルを自由に閲覧できる形式でポスター発表会を開催する予定です。質疑応答はチャットで行えるようにするほか、リアルタイムでの議論については適宜 Zoom 等で行っていただくことを検討しています。なお、ポスター発表の申込数について、審査員確保の観点から 50 件程度の上限が設定される可能性があります。詳細は次号のニュースレターでお知らせします。
- ・なお、名古屋大会では既発表となりましたが、討論・意見交換ができなかったため、同様のテーマの発表を希望される場合が考えられます。その場合は、この一年間の研究進捗も含めた新たな知見を含んだ発表で、演題や要旨が名古屋大会と同一にならないように留意のうえで申請してください。
- ・ESJ68 においても、高校生ポスター発表会に参加した高校生と若手研究者との交流会「みんなのジュニア生態学講座」を企画します。2～3 名の若手研究者に話題提供をお願いし、どのような中学・高校時代だったか、研究者を目指したきっかけは？等のエピソードも含めて、ご自身の研究を語ってまいります。Zoom ウェビナー等を用いたオンライン開催を予定しておりますが、質問時間を十分に設けるなど、議論や交流の機会を確保する予定ですので、ご期待ください。
- ・開催日時や参加申込・要旨登録・授与される賞等の詳細については、次号のニュースレター／日本生態学会公式 HP / 全国規模の ML 等で配信しますので、ぜひお知り合いの高校教員や高校生に周知していただきますよう、よろしくお祈りします。

## エコカップ 2021

大会サテライト企画として例年開催されている親善フットサル大会 エコカップ 2021 については、エコカップ 2021 実行委員会により対応を検討中です。皆様からのご意見も広く募集しております。ご意見はエコカップ 2021 ホームページ (<https://sites.google.com/view/ecocup2021>) にて受付中です。